



広報

わでな

編集と発行

発行 嘉手納町役場

編集 企画経済課広報係
〒904-02嘉手納町字嘉手納81番地
☎ (098956) 1111~1114

印刷：ロータリー印刷

3月1日の人口

	東区	上区	中区	北区	南区	西区	西浜区	計
世帯数	686	433	402	532	569	577	497	3,690
男子	1,423	806	785	997	981	1,097	1,085	7,174
女子	1,353	863	787	1,043	1,038	1,111	998	7,193
計	2,776	1,669	1,572	2,040	2,019	2,208	2,083	14,367

愛の献血ありがとう

嘉手納町献血推進協議会（吉浜朝永会長）は、第四回目の献血を三月十四日に実施、一〇二名の方より採血を行いました。

皆様方の「協力大変ありがとう」ございました。

（町役場前・三月十四日）

心のふれあいのあるまちづくりを目ざし

昭和57年度 予算編成方針を表明

一般会計予算 56億6,950万円



▲昭和57年度予算編成方針を表明する吉浜町長（3月定例議会/3月12日）

吉浜町長は、三月十二日の第十一回嘉手納町議会定例会において、昭和五十七年度の予算編成方針を表明した。特に本年度は任期最終年次の締め括りの年を迎え、「庁舎および町民会館の完成をめざして」、「都市基盤の整備」、「生活環境および町民福祉の向上」を重点施策としてかけ、心のかような行政、おもいやりのある行政、そして心のふれあいのあるまちづくりに向け、各施策を強力に推進することを明らかにした。

以下は、昭和五十七年度予算編成方針の全文です。

はじめに

昭和五十七年度の町政の基本を定める当初予算編成に当り、

私の町政運営にあたっての所信と基本方針について申し述べ、議員各位と町民皆様のご理解とご協力をお願いしたいと思います。

さて、私は昭和五十四年二月以来町民の皆様から信託を受け、町政をすすめてまいりましたが、本年度は任期最終年次の締めくくりの年を迎えております。

過去三ヶ年間の町政をふりかえってみますと、はたして町民の皆様は納得のいく行政が執行できたのであろうかという焦燥感を覚える次第ですが、しかし、私としては町民一人一人の声が町政に反映できるよう精一杯頑張ったつもりでございますので、充分とはいかないまでもある程度納得のいく行政を遂行することができたのではなからうかと確信いたしております。

これも偏に議員各位をはじめ町民皆様のこれまでの町政にお寄せいただきました深いご理解とご協力の賜ものであり、衷

心より感謝申し上げる次第であります。

ところで、多年の懸案事項でありました役場庁舎および町民会館の建設につきましましては、町民の皆様から私に課された最大の使命であることを自覚し、う

余曲折様々な諸困難な問題に遭遇しながらも建設用地の確保ができ、更に、いま庁舎等の建設のつち音も高く完成に向けて急ピッチで作業がすすめられておりますことは、「我が町のシンボル・我が町の文化の殿堂」の建設を合言葉に議員各位をはじめ、町民の皆様関係地主の積極的なご協力によるものであり、重ねて心から感謝申しあげると共に新庁舎の完成が、本町歴史に新しい一ページを加え本町発展の礎になるものと確信する次第であります。

さて、本年は本県が本土復帰して丁度十年という歴史的な節目を迎えることになりました。本土との較差是正を図るため制定された「沖縄振興開発特別措置法」もこの十年間フルに活

用され、各種事業の実施に伴って県民生活の向上に多大な成果をあげていることは周知のとおりであります。

しかし、同法も国の財政再建をめざす行政改革がすすめられるなかにあつて、これまでどおりの内容の高率補助措置が認められるかは、決して予断を許さない状況にあります。

かかる厳しい情勢下で、寸時の停滞もなく行政を安定的に運営し、町民生活を守り、福祉の向上等を図っていかなければならぬという大きな試練を迎えておりますが、私は、今後の町政運営にあたっては地方財政の確立に努めると共に、限られた財源の効率的運用を図るため、全職員、英知の結集と議員各位をはじめ町民皆様のご指導とご協力をいただき、本町発展のため誠心誠意努力を傾注してまいる所存であります。

さて、町政は町民のためにあり、それには町民との対話が大切なことは申すまでもありません。

私は、就任以来一貫して「対話ある行政」を行政推進のメインテーマにし、町民福祉の向上、

町民本位の行政をすすめてまいりました。

本年度も町政運営にあたって、過去三ヶ年にわたりやりとげた

事業あるいは現在すすめられている事業を報告するかたわら、明るく住みよいまちづくりをすすめるにあたって、町民の皆様がどのようなご意見ご要望をお持ちなのか、親しくくびぎを交じえながら、各区行政懇談会等すすめてまいりました。

このたびの懇談会におきましても多数の方々から町政進展について貴重なご意見を拝聴することができ、なかでも町民の連帯意識を深め公徳心の高揚を希求する声は高く、これに対応する行政側の積極的な施策の展開が必要であることを痛切に感じるものであります。

確かに現代社会は、都市化、核家族化の進行に伴って人間的なふれあい、人間らしさが失われていくなかで、物質的な欲望だけは次々と満たされ、精神的な荒廃が目立ち心の痛む思いであります。

人間的豊かさは、町政の進展を支える大きな礎であり大切な財産であります。

いま、私たちに求められていることは、かつての守礼の邦に象徴される沖縄の心の醸成であります。

したがいまして、私は今後の町政運営にあたっては、施設の整備充実もさることながら、町民との対話をより一層深め、公徳心の高揚、町民魂の精神を培い、昨年十一月結成いたしました「嘉手納町心豊かなふるさとづくり推進協議会」を人間性回復の起点にして、クリーン・グリーン・グレイシヤス運動を積極的に推進、実践し、心のかよ行政、おもいやりのある行政、そして心のふれあいのあるまちづくりを推進してまいる所存であります。

議員各位および町民の皆様のご理解とご協力を節にお願ひ申しあげ、任期最後の本年度は決意もあらたに

一、庁舎および町民会館の完成をめざして

二、都市基盤の整備

三、生活環境および町民福祉の向上

を重点施策として強力に推進し、具体的事業について更にご説明申しあげます。

役場庁舎および町民会館の完成をめざして

町民の皆様が等しく待ち望んでおりました新庁舎（総面積六、二〇二㎡地上三階、地下一階）が本年度で完成いたします。

これまで変則的な行政によって、町民の皆様にも多大な迷惑をおかけしてまいりましたが、これが完成によって事務処理のスピード化や簡素化が図られ、町民の待ち時間も大幅に短縮し、町民サービスの向上に大きな期待がもたれるところであります。

また、新庁舎と併行してすすめられている町民会館（三、〇七五㎡）も文化の殿堂として町民の文化活動の拠点になりうる

ことがおおいに期待されます。なお、本年度は、本事業の完成を強力に推進し、更に当該施設周辺に駐車場（五、〇一〇㎡）および中央幹線道路（幅十二m、延長四八七m）の整備をすすめ、

行政センターとしての中枢的機能と一段と高めると共に職員英知の結集と奉仕の精神を十二分に発揮し、町民サービスの向上に努めてまいりたいと思っております。



▶急ピッチで建設が進められている庁舎及び町民会館

都市基盤の整備

都市づくりの目標は、すべての町民が平和で快適な生活が営める明るい健康的な都市環境を整備することであり、本年度も積極的に都市計画事業を推進してまいりたいと思います。

土地区画整理事業について

「都市計画の母」と呼ばれる土地区画整理事業の目的は、無秩序な市街化を防止し、街路、公園などの公共施設と宅地とを一体として、整備することにより、健全な市街地をつくり出すことにあります。

本町における土地区画整理事業は、昭和五十二年の着手以来これまで年次的に物件補償や一部造成を行ってまいりましたが、本年度もひき続き物件補償（家屋九件、墓十五基）および造成（二、六五〇㎡）をすすめてまいりたいと思います。

都市計画道路の整備について

都市計画道路は、都市構造の骨格を形成すると共に総合交通体系の一環として、都市における人と車の円滑な交通を確保するため、整備されるものであります。

本町における都市計画道路

生活環境の整備

整備は、昭和五十八年度完成に向けて昨年度より水釜幹線道路の整備に着手してまいりましたが、本年度もひき続き用地取得（八八九㎡）、物件補償（家屋四件、墓六基）、建設工事等をすすめて、更に、昭和六十二年沖縄国体（第四

すべての町民が、快適な日常生活が営めるよう生活環境の整備をすすめてまいります

都市公園整備について

都市の中の緑とオープンスペースは、人びとの憩いの場となるだけでなく、公害や災害を防止するなど多様な機能を持っております。

なかでも都市公園は、その中核をなすもので緑豊かな都市環境をつくりあげるうえで主導的な役割を果たしております。

本町においてもすでに屋良城跡公園、水釜、屋良第二児童公園、緑道（散歩道）が完成し、町民に憩いの場を提供しております。

十二回国民体育大会）関連事業として採択を受けました久得幹線道路の整備につきましては、初年度事業として調査設計、一部用地取得および仮設橋の建設を予定しております。

本年度は次の事業をすすめてまいります。

(1) 嘉手納運動公園整備について

本公園は、沖縄国体の球技大会場（ソフトボール）の決定をみております。これまで、用地取得、物件補償、野球場の造成等を実施してまいりましたが、本年度もひき続き野球場スタンド等の建設をすすめて、国体会場にふさわしい公園整備に取り組んでまいりたいと思います。

(2) 兼久浜公園整備について

本公園整備事業は、既設の町立総合運動場を中核に有機的機能をもつ公園として整備をすすめております。

すでに昭和五十五年度から

用地取得を実施しており、本年度は残された用地の取得と実施設計をすすめてまいります。

(3) 嘉手納児童公園整備について

本公園事業は、児童生徒の情操教育の場として整備をすすめるもので、すでに用地取得の完了をみており、本年度は実施設計をすすめて昭和五十八年度開設に向けて努力してまいりたいと思います。

(4) 墓地公園整備について

都市計画事業をすすめるうえで、障害となっている墓地の集約化用地の確保のため、基地の一部返還、共同使用の要請をすすめたところ、本年度内に久得地域内の共同使用が合意に達することが確実視されております。

本公園計画（三〇、一〇〇㎡）は、本年度において、実施設計、造成工事等を早急にすすめて、墓（約五〇〇基）の移転促進を図り都市計画事業の円滑推進に努めると共に、墓地を必要とする町民に対し広く墓地区画を提供してまいりたいと思います。

町道の整備について

町民の生活基盤ともいうべき町道の整備は、年々整備充実され車輛および歩行者の交通の円滑に寄与しているところであります。

本年度は、町道二十三号線（島スパー）高江洲松金氏宅前）の一部用地取得および道路改良舗装と町道四十八号線（防音整備協会）奥間秀信氏宅前）の改良舗装をすすめてまいります。

また、水釜地域の玉城材木店北側の遊休化土地につきましては、本町の土地需要を反映し、宅地としての利用増進を容易にするため、延長一五〇m、幅員六mの道路新設をすすめてまいりたいと思います。なお、昨年度完成いたしました町道七十三号線（比謝川線）の終点に位置する埋立部分の残地につきましては、小遊園として地域住民の憩いの場に供するため整備をすすめてまいります。

上水道の整備について

県内の水事情は極端に悪く、長期にわたって時間制限給水を余儀なくされている状況にあります。

国においては、水源確保のためダムの建設を急ピッチですすめておりますが、降雨に頼っている本県の事情からして今後ともかなり厳しいことが予想されます。

したがって、今後は水資源の有限性を踏まえ「節水型社会」の形成を図っていく必要があります、そのために町民の節水に対する意識の高揚に努めてまいりたいと思います。

昨年度におきまして、東区域の配水管の布設替え工事を実施し、これにより基本的な施設の整備がほぼ完了いたしました。

本年度からは、配水管等の維持管理と漏水防止に重点をおき、有収率を高めていききたいと思ひます。

なお、制限給水のさ中、料金値上げ（平均二十九％）することは、不本意ながら県企業局の卸料金三十二パーセントという大幅な値上げに伴うものであり、本町としては実に六年ぶりのことで止むを得ない措置であります。水道事業に対するご理解とご協力をお願い申し上げる次第であります。

下水道の整備について

本町の下水道は、汚水管整備率九十五パーセント、雨水管整備率七十五パーセントと年々著実に整備され、町民の生活環境の向上に大きく貢献しております。

本年度は、雨水管整備を重点的にすすめると共に町民の下水道利用促進のため、排水設備の普及に努めてまいりたいと思ひます。

交通安全対策事業について

交通安全対策につきましては、「嘉手納町交通安全推進協議会」を推進母体に、関係機関との連携を図りながら、交通安全思想の普及、交通安全

全施設の整備に努めてまいります。

本年度は、町道四十六、六五号線のガードパイプ、ミラー等を設置してまいります。治安対策について

犯罪を未然に防止し、町民が安心して暮らせる環境づくりのため、本年度も引き続き防犯灯を設置してまいります。消防行政について

「毎日が防火デー」です。ぼくの家」を合言葉に災害の未然防止のため防火思想の普及に努めてまいります。

更に消防ポンプ車（二、〇〇〇）の購入および防火水槽の設置を図り、災害の防除に万全を期してまいります。

町民福祉の向上

真の福祉とは、人間それぞれ置かれている立場で、まず生きようとする、そういう意欲を伸ばし各人が自立していけるような条件を整理し、その上に足りない部分を公共的な福祉政策が補うものであります。

本年も地域福祉の担い手とな

開催等々幅広い福祉活動を推進するため「福祉バス」を設置してまいります。

また、昨年に引き続き清掃、美化作業等への就労を図る中間的就職を促進し、失業者の再就職への途を拓いてまいりたいと思ひます。

次に、各福祉について申しあげます。

児童福祉について

児童福祉については「すべての子供が、人間として尊ばれ社会の一員として重んぜられると共に、良い環境の中で育てられなければならない」という基本理念に基づいて諸施策をすすめてまいります。

昨年度は一二〇人収容の保育所が完成し、これによって入所待期児童も相当緩和されるものと期待しております。

なお、本年度は障害児保育についても今一歩枠を広げていくと共にゼロ歳児保育についても取りこんでいき、児童福祉の増進に努めてまいりたいと思ひます。

生きがい対策について（老人福祉）

高齢化社会は、本町でもすすみつつあります。だれもが

いつかは老人となるのであり「美しく老いる」ことへの自覚とあわせ、日々が楽しく充実した人生が送れるよう、その実現についてそれぞれの分野で対応、実践をしてまいりたいと思ひます。

本年度は、昨年度完成いたしました「いこいの広場」を老人のいきがい対策の拠点となりうるよう効果的な運用をすすめてまいります。

また、「老人健康診査」や一人ぐらし老人に対しても友愛訪問などを行い孤独感の解消に努めてまいります。

障害者（児）福祉について

障害者の立場を考え暖かい手を皆んなでさしのべ、自立のための後押しが自然にできる社会の建設が望まれます。

本年度は、昨年度に引き続きまして、障害の軽減のため通院治療等を継続している障害児に対し、見舞金（月額五、〇〇〇円）を支給し、保護者の経済的負担の軽減を図り療育の促進に努めてまいります。

また、自立更正のための技能取得の促進や身障者見舞金等も支給してまいります。

低所得者福祉について

低所得者の援護につきましましては、病氣、災害等の急場をしのぐための援助として、無利子で資金の貸付を実施する一方、保護を要する世帯が不安のない生活が送れるよう、関係機関とも相提携していくと共に、保護世帯が自立更正を失わないように努めてまいりたいと思います。

母子福祉について

母子福祉につきましましては、その生活の安定を図るため諸貸付け金制度の活用や相談業務を強化し、経済的自立更正と生活意欲を高めてまいりたいと思います。

町営住宅の建設

健康で文化的な生活を営むことは、だれもが希求するものであります。

町営住宅は、町民の住宅難解消に向けて、これまで一二戸が設置されてまいりましたが、年々増加にある空屋入居希望者の需要に応えることができない状況にあります。

したがって、本年度は既に先行取得いたしました水釜埋立地域に第二種住宅十六

戸と集会室を建設し、町民生活の安定と町民福祉の増進に寄与してまいりたいと思っております。

なお、入居にあたっては心身障害者および母子家庭を優先的に入居させたいと考えております。

国民健康保険事業について

国民健康保険制度は、万一病氣やケガなどで経済的、精神的な不安に直面したとき、私たち一人一人の力ではどうにもならない医療費の支払いをみんなの力で少しでも軽くして、お互いに助けあういわば相互扶助の精神と連帯感により、運営されている制度であります。このありがたい制度も今や医療費の急激な増加によって、苦しい場面に直面しております。

本町においても、昭和五十五年度の医療費一七八万円の昭和五十五年度には四七一万円と二・六倍にも達し、厳しい運営を強いられております。

国保財政は、国県補助金、患者負担金および保険税（加入者）でまかなわれておりま

すが、医療費の増加は保険税の上昇につながって、加入者は大きな負担を強いられることとなります。

国保制度の維持と健全運営を図るためには、お互い町民が健康であることが大切であり、それと共に相互扶助の精神にのっとり、保険税の自主的納付が強く望まれるところであります。

したがって、国保制度に対する町民のご理解をいただくと共に町民の健康保持増進に努めてまいりたいと思っております。

国民年金について

生活の安定を図ることを目的とする年金制度も、町民の皆様のご理解をいただき、すでに四、〇三六人の加入状況をみております。

受給年金額も物価スライド制により、年々増額されるわけですが、反面、保険料も値上り傾向にあり、このため保険料の長期未納者等も見受けられます。

したがって、これらの方々の実態を掌握すると共に納付意欲の向上を図るため、

納付相談の実施、制度の理解のため広報活動を強化し、受給権の確保と検認率の向上を高め無年金者の解消に努めてまいります。

保健、予防事業について

「健康」は、人間生活の中で一番大切なことであります。このことを基本に、これまで各種予防接種、母子保健事業、成人病対策、結核の早期発見、

生活環境の整備等をすすめて、町民の健康確保に多大な成果をあげてまいりました。

本年度もこれらの事業を積極的に推進していき、特に近年問題となっている成人病等につきましましては、教宣活動を強化して受診率の向上に努め、衛生的で健康なまちづくりをすすめてまいります。

産業の振興

限られた狭あい地域だけに、

町経済の自立的発展と基礎的条件の整備をすすめていくためには、困難を有するものであります。が可能な限り、その方策をみい出し、産業の振興を図り町民生活の安定向上に努めてまいりたいと思っております。

農・水産業について
農業の基本となる農用地は七十一ヘクタールあるが、そのほとんどが久得黙認耕作地域内です。

近時、同地域内でのキビ作の新植の禁止通告を受けるなど、農業を取りまく環境はき

びしいものがあります。

私は、禁止通告の撤廃を強く求めると共に農用地の確保に努め、農業生産の向上に努めてまいりたいと思っております。

幸いに返還軍用地の跡利用として、本年度からほ場整備（六、三ha）が実施される訳ですが、本町の特色である都市近郊農業を最大限に生かすため、同地域を農業の中核として位置づけ、花卉、そ菜等の栽培を促進し、農用地の高度化利用および生産性の向上に努め、農家経営の安定向上に資してまいりたいと思いま

す。

更に、農用地確保のため、昭和五十七年二月に基地（久得地域）の返還要請を行っております。

その他、優良農機具等の購入についても、引き続き助成してまいります。

畜産業につきましては、ほ場整備に引き続き共同利用の畜舎を設置し、住居地域内の畜舎の集約化をすすめる予定でありましたが、国との調整で計画延長を余儀なくされております。

この間、悪臭防止対策につきましては、従前同様悪臭防止剤を助成すると共に、畜舎の清掃など農家の指導に努めてまいりたいと思っております。

水産業につきましては、引き続き優良水産機具の購入、燃料購入についても助成してまいります。

商工業について

本町の産業構造からみた場合、第二次産業二五、五パーセント、第三次産業七一、一パーセントと商工業のもつ比重は大ですが、ほとんどが小規模零細業者であります。

す。

商工業の経営の近代化および生活安定の向上を図るためには、経営者自身の自覚が必要であります。

今日のような経済の厳しい時こそ、経営手腕の真価が問われる時であります。客の心をいかにとらえ、いかに自店に導くかが大きなポイントとなります。

町におきましても、従来の融資制度の充実に努めると共に

教育文化の向上

教育行政の目的は「人づくり」にあります。

お互いの住む社会は、心豊かで教養のある人間によって構成された社会であることが理想であります。

物質面だけ豊かであっても、人間的に心豊かでなければ、その社会は常道社会とはいいい得ません。

そのために教育は大切なものであります。

義務教育について

本町における義務教育施設

に町商工会とも連携を図り、

経営の安定化と近代化を促進し、更に、商工会運営補助金に加え、商工会ですすめております「嘉手納町商業近代化基本計画」策定につきましても積極的に助成を行い、商工業の振興に努めてまいります。

なお、全町民参加の「かでなまつり」についても内容の充実をはかり、引き続き開催してまいりたいと思っております。

は、復帰後相当に力を入れた結果、かなり整備充実されております。

しかし、立派な家に住み、立派な調度品を備えているから、その家の人は立派な人とはいいい得ません。

いかに教え、いかに学びその施設で教育機能がどのようになされたかというかが重要なことであります。

したがって、今後の教育は、施設の整備充実とあわせ、内面的な充実を図り、心

身とも健全で豊かな情操と自主性に富む人間形成をめざす

と共に、児童生徒の基礎学力の向上推進のため、教育の充実に努めてまいりたいと考えております。

本年度は、嘉手納・屋良小学校の二階以上の廊下側腰窓に安全柵を設置し、転落事故防止を図ると共に町内三校に非常用の防火戸および防煙シャッター等の防火施設を設置してまいりたいと思っております。

次に、嘉手納小学校に情緒障害児学級を新設し、情緒に不安定な児童の矯正を図り、健常児同様の生活が送れるよう努めてまいります。

嘉手納中学校においては、より効果的な英語習得のため、英語教室を改造しL・I方式（語学演習）をすすめてまいります。

社会教育について

社会教育につきましては、地域住民の日常生活に即する社会学級を開設しております。

本年度も、青年、婦人、成人、老人等の各層が学習できるような環境づくりや施策を講じ、生涯教育の充実に努め

てまいりたいと思っております。

また、人間は本を読むことによって、知識を得、教養を高め、人生を豊かにするものであり、このため図書の実態もすすめてまいります。

社会体育について

社会体育につきましては、昨年に引き続き各種スポーツの振興事業、各種スポーツ教室の開設や研修会を開設していき、すべての町民が、スポーツに親しみ、心身共に健康な生活が送れるよう体力の増進を目ざしながら、地域住民の連帯と協調の輪を広げ、明るく住みよい健康なまちづくりをすすめてまいります。

なお、昭和六十二年沖縄国体でソフトボール競技が、本町で開催されることが決定しておりますので、これを機に国体へ向けての態勢づくりをすすめてまいりたいと思っております。

文化活動について

長年待ち望んでいた文化の殿堂、町民会館が本年度で完成します。今後は、この優れた施設を生かしながら、豊かな人間性と創造意欲のある町

民づくりのため、文化教室や各種発表会を開設し、文化の香りあるまちづくりをすすめてまいりたいと思います。

また、文化財保護につきましては、啓蒙運動、調査活動をひき続きすすめてまいります。

本年は、「嘉手納町文化財保護条例」が制定されてから満七年を迎えており、これを

行財政の確立

昭和五十七年度一般会計予算は五、六六九百万円となっております。

前年度予算と比較して一三、四パーセントの伸びで六六九百万円増加しております。

財源の内訳は、自主財源一、一六八百万円（約二十、六％）、依存財源四、五〇一百万円（約七九、四％）という構成になっており、財政状況はかなり厳しいものがあります。我が国経済もこれまでの高度経済成長への

回帰が不可能となったいま、国においても財政再建を図るため行政改革がすすめられており、地方自治体においても、低経済成長に即した行政運営をすすめ

機に「文化財要覧」を発刊し、先人の遺した貴重な遺産を広く一般にご紹介すると共に、文化財に対するご理解を深めてまいりたいと思います。

なお、本町が歩んできた道程を正しく後世に伝えるため、調査研究が行われている町史編集業務も、「新聞資料編」の発刊に向けての作業がすすめられております。

ていかなばならないものと考え、そのためには、地方交付税率の引き上げと超過負担の解消等を国に対し要求していくと共に、町内部においては経常経費の削減を図り、効率的な財政の執行を行うなど内部努力を積極的

にすすめる、かつ、町民の皆様に対して納税の自主納付を促進し、自主財源の確保に努めてまいりたいと思います。

更に、執行体制においては、新庁舎完成に向けて行政事務の簡素化と効率的な事務処理をすすめるため、内部機構改革の検討を行っているところであります。

す。なお、広報、広聴活動については、正確な情報を町民の皆様

むすび

以上、昭和五十七年度の主要事業について、ご説明申し上げました。冒頭で申し上げたように、行政の理念は不変不朽「町民との対話」にあり、対話のない行政に町民の福祉を図る術はなく、町政の発展を望むことはできません。

したがって、私は残されたこの一年間従来に増して、町民との対話を深め、行政の原点に立ちかえり、初心を忘れることなく、今後の町政発展のため全力を尽す決意であります。

さて、基地問題をさけて本町行政を語ることができないことは、周知のとおりであります。

騒音、B52飛来等に加え、ヘリを使った降下訓練が民間上空で平然と行われるなど、基地公害は相も変わらず続発し、町民の上に重くのしかかっております。

私は、就任以来基地から派生する諸問題は、総て国の責任に

町政に反映するため、広報「かでな」の充実発行と町民意識調査等をすすめてまいりたいと思

います。おいて解決をはかるべきであるとの基本的態度を堅持し、これらの基地公害の防止について、関係機関へ再三、再四にわたって、改善要求を重ねてきた訳であります。残念ながら町民が納得するまでに至っており、誠に遺憾であります。

近時に至って、町民生活に大きく影響を及ぼしている騒音の軽減を図るため、大型駐機場にサイレンサー（消音装置）二基が設置され、音量もかなり低くなっておりますが、しかし、これが設置によって騒音問題が払拭されたものではなく、国等の努力に対し評価するものではあるが、町民の静穏な生活環境を取りもどし、町民が納得いくまで解決に向けて努力を重ねてまいります。

また、住宅防音工事も全世帯の約九十パーセントが施工済で、懸案となっておりますクレー

の維持費につきましても、原因者負担の原則にのっとり、国負担が実現するまで粘り強い折衝を行ってまいります。

さて、これらの様々な問題を内包する基地問題は、他市町村に類をみることは極めて少なく、解決処理にあたつて障壁を強く感ずるものであります。私は、挫折することなく強い姿勢で臨み、町民の納得のいく方向でその解決になお一層の努力を傾注してまいります。

もとより、基地問題の解決にあつては、議会の意を体し、議会との共同歩調が基本であることは申すまでもありません。今後とも、議員各位のご協力を心からお願ひする次第です。終りに本年度は、例年に増して厳しい財政事情にありますが、万難を克服し行政運営に邁進することを決意し、議員各位をはじめ町民皆様の一層のご支援とご協力をお願い申し上げ、昭和五十七年度予算編成方針といたします。

昭和五十七年三月十二日
嘉手納町長 吉浜朝永

一般会計56億6,950万円の超大型予算

——庁舎及び町民会館建設費・久得ほ場整備費を計上——

本町の昭和五十七年度一般会計予算、特別会計予算が三月二十五日、第十一回嘉手納町議会議定例会において原案どおり可決されました。

本年度の一般会計予算は、五六億六、九五〇万五千円で、前年度に比較し六億六、八七四万九千円（十三、四パーセント）増となっております。

増えた主な要因は、現在建設中である役場庁舎及び町民会館の建設に加え、新たに久得返還軍用地跡利用として、農業基盤整備事業費等（約一億七千万円）が予算計上されたためであります。民生費の二億一、八〇七万五千円（三四、四パーセント）の減につきましては、前年度において第四保育所及び老人いこいの村建設（工事費約二億四千万円）が完成したためです。

特別会計予算につきましては、国民健康保険特別会計五億二、九八三万八千円、上水道特別会計二億九、六三九万七千円、下水道特別会計一億六、九五八万五千円となっております。

下表は、嘉手納町の昭和五十七年度一般会計予算の概要です。

歳入歳出予算事項別明細表

(歳入)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	構 成 比
1 町 税	4 6 5, 2 1 6 千円	4 1 6, 3 6 2 千円	4 8 8, 5 4 千円	8 2 1 %
2 地 方 譲 与 税	1 9, 3 9 0	1 8, 8 7 2	5 1 8	0 3 4
3 自動車取得税交付金	8, 1 2 8	8, 1 2 8	0	0 1 4
4 国有施設等所在市町村交付金	1 9 1, 6 6 7	2 0 3, 3 5 8	△ 1 1, 6 9 1	3 3 8
5 施設等所在市町村調整交付金	4 6 0, 1 2 7	4 7 3, 2 6 6	△ 1 3, 1 3 9	8 1 2
6 地 方 交 付 税	8 9 0, 0 0 0	7 1 2, 7 2 7	1 7 7, 2 7 3	1 5 7 0
7 交通安全対策特別交付金	1, 3 9 8	1, 3 0 0	9 8	0 0 2
8 分担金及び負担金	5 0, 2 4 0	2 3 9	5 0, 0 0 1	0 8 9
9 使用料及び手数料	4 8, 0 1 9	4 1, 8 7 7	6 1 4 2	0 8 5
10 国 庫 支 出 金	1, 9 0 4, 6 3 9	1, 7 7 1, 0 4 2	1 3 3, 5 9 7	3 3 5 9
11 県 支 出 金	4 4, 9 1 8	5 3, 8 7 9	△ 8, 9 6 1	0 7 9
12 財 産 収 入 金	1 6 0, 2 5 4	1 5 3, 8 4 3	6 4 1 1	2 8 3
13 寄 附 入 金	1	1	0	0
14 繰 入 金	3 4 7, 4 8 8	1 8 4, 7 4 2	1 6 2, 7 4 6	6 1 3
15 繰 越 金	7 0, 0 0 0	2 5, 0 0 0	4 5, 0 0 0	1 2 3
16 諸 収 入	2 7, 5 2 0	3 2, 9 2 0	△ 5, 4 0 0	0 4 9
17 町 債 償	9 8 0, 5 0 0	9 0 3, 2 0 0	7 7 3 0 0	1 7 2 9
歳 入 合 計	5, 6 6 9, 5 0 5	5, 0 0 0, 7 5 6	6 6 8, 7 4 9	1 0 0

(歳出)

款	本年度予算額	前年度予算額	比 較	伸 率	構 成 比
1 議 会 費	7 8, 5 7 6 千円	7 3, 3 6 8 千円	5, 2 0 8 千円	7 1 0 %	1 3 9 %
2 総 務 費	1, 8 4 2, 4 0 6	1, 0 8 9, 9 0 4	7 5 2, 5 0 2	6 9 0 4	3 2 5 0
3 民 生 費	4 1, 5 8 5 2	6 3, 3 9 2 7	△ 2 1 8, 0 7 5	△ 3 4 4 0	7 3 4
4 衛 生 費	1 6, 8 4 8 9	1 5 0, 8 4 8	1 7 6 4 1	1 1 6 9	2 9 7
5 労 働 費	2 2, 3 5 9	2 4, 0 1 8	△ 1, 6 5 9	△ 6 9 1	0 3 9
6 農林水産業費	2 2 8, 5 1 0	4 9, 8 4 6	1 7 8, 6 6 4	4 5 8 4 3	4 0 3
7 商 工 費	3 4, 5 8 9	4 0, 2 9 3	△ 5, 7 0 4	△ 1 4 1 6	0 6 1
8 土 木 費	1, 9 7 4, 0 5 2	2 0 7, 0 8 9 4	△ 9 6, 8 4 2	△ 4 6 8	3 4 8 2
9 消 防 費	1 4 9, 0 9 0	1 2 9, 3 4 3	1 9, 7 4 7	1 5 2 7	2 6 3
10 教 育 費	4 4 8, 6 9 0	5 2 0, 0 9 3	△ 7 1, 4 0 3	△ 1 3 7 3	7 9 1
11 災害復旧費	4	4	0	0	0
12 公 債 費	2 6 3, 8 8 6	1 9 9, 9 6 6	6 3, 9 2 0	3 1 9 7	4 6 5
13 諸 支 出 金	2	2	0	0	0
14 予 備 費	4 3, 0 0 0	1 8 2 5 0	2 4, 7 5 0	1 3 5 6 2	0 7 6
歳 出 合 計	5, 6 6 9, 5 0 5	5, 0 0 0, 7 5 6	6 6 8, 7 4 9	1 3 3 7	1 0 0

素晴らしい作品がいっぱい

◇教育作品展示会◇

第五回教育作品展示会が、三月八日・九日の両日、中央公民館ホールで行われ多数の参観者でにぎわった。

この展示会は、町内三校の特殊学級生二十九名による作品展で、四一七点を展示したものです。事務局の比嘉佑邦先生は「子供達が、自分で作り上げた作品を多くの人々に見てもらうことにより、自分達でもやればできる」という自信を持たせる事をねらいとしている」と語っていた。



▲会場には417点のすばらしい作品が展示され参観者の目をうばった（中央公民館/3月8日）



▲各コートで白熱した試合が展開された（高小体育館/3月7日）

珍プレーが続出

◇第10回成人バレーボール大会◇

町教育委員会主催による、第十回成人バレーボール大会が、三月七日嘉手納小学校体育館で催され、選手層の厚さと力ともに強る東区Aチームが優勝した。

この大会は、三十代以上の男子六名と婦人三名でもってチーム編成し、日ごろ運動する機会の少ない壮年者を対象にした大会で、各コートではファインプレーともつかぬ珍プレーが続出し、お父さん、お母さん達が額に汗をうかべ悪戦苦闘、子供達の声援を受けていた。

北区が優勝す

◇第3回壮年ソフトボール大会◇

第三回各区対抗壮年ソフトボール大会が、三月十八日から三日間、嘉手納小中学校グラウンドで九チームが参加し開かれた。

この大会は、壮年の方々の健康保持増進と互いの親睦をと開かれたもので、三十五歳以上から五十代の方でチーム編成し行われた。優勝戦は北区と西浜区の対戦となり、激戦の末北区が八対四と西浜区を下し優勝を決めた。



▲北区対西浜区の優勝決定戦（高小グラウンド/3月20日）

PTA活動のあり方を求めて

◆ 第一回 地区PTA研究大会 ◆

「嘉手納町にふさわしいPTA活動のあり方を求めて」を大会テーマに、嘉手納地区PTA連合会（佐久川憲孝会長）による、第一回嘉手納地区PTA研究大会が、三月六日、嘉手納中体育館で三校の校長及び先生方をはじめ、多数の来賓と父母が参加し開かれた。

この大会は、「次代を担う子供達の健全育成にふさわしい教育環境」——と開かれたもので、宮城勇孝嘉手納中教諭、宮平永治嘉手納小PTA会長、石橋芳子屋良小学校長により意見発表がなされ、学校教育及びPTA活動について熱心な話し合いがなされた。



▲石橋芳子屋良小学校長による研究発表
(嘉小体育館/3月6日)

県立泊高校（通信制課程）の卒業式が、三月七日同校で行われ、嘉手納町字嘉手納四七三の比嘉恵蔵さん（双葉タクシー勤務）が、七十一歳の最高齢で卒業を迎えた。

比嘉さんの入学の動機は、勉学に燃える情熱に加え同僚（同校卒業）のすすめもあり、その後、家族と職場の同僚の励ましにより、今回めでたく卒業しました。「今後は、自分のこの体験を一人でも多くの方々にしてもらいたい。そのため、これを自分のボランティア活動としていきたい」と熱っぽく卒業の喜びを語っていた。

71歳で泊高通信制卒業

◆ 南区の比嘉恵蔵さん ◆



▲卒業の喜びを語る比嘉恵蔵さん（町役場/3月25日）

南区青年会が優勝

◆ 第十回バスケットボール祭り ◆

「バスケットボールを通して、相互の親睦を深め健康で明るい青年会活動を活発に」と、第十回青年バスケットボール祭り大会が二月二十五日から三日間嘉手納小体育館で開催された。

試合は各区青年会チームと町バスケットクラブOB、読高バスケット部の八チームで、連日にわたり白熱した試合を展開し、南区青年会チームが37対36で読高バスケット部を下し優勝した。



▲連日にわたり好試合が展開された（嘉小体育館/3月25日）

